

## 週日の説教

金 大烈 神父 2011年3月2日(水)

### 《永遠の命を得るために》

主の平和

皆様、物忘れをよくする方ですか？それが段々激しくなって来てはいませんか。これには性格の問題もあると思いますが、特に私は、毎日司祭館を出る時に探すものがあります。それは「カギ」。何処へ置いたかといつも探します。今、神学生が（パウロさん）一緒ですので、彼は私が司祭館を出入りする時に「カギ」をどこに置くのかとよく見えています。（笑）昔はメガネもよく置き忘れしました。毎日使うものをどこに置いたか覚えていない。あちこち探しても見つからなくて「まあ、仕方がないよ」とあきらめた時に、よく目につく所にちゃんと置いてあることに気がつきます。皆様はどうですか。この様なことよくありますよね。

私達の信仰も同じではないかと思えます。色々なことを皆様が求めています。探しています。しかし神様は、変わらないところで私達を待っています。神様の御心は変わらない。ただ変わってしまったのは私達ではないのか。神様はいつもいらっしゃる所で私達のことを見ていて下さる。耳を傾けて聞いて下さっているにもかかわらず、別なところで神様を探しているのは私達の方ではないでしょうか。「カギ」「メガネ」のように「あなたが置いたところであなたを待っているよ」と。この様に神様は、変わらないところで私達にいつも語っていらっしゃるのではないかと、今朝そんなふうに思いました。

さあ、今日の福音（マルコ 10・32-45）には3つの物語が混ざっていると思えます。一つは、イエス様がこの二人に（ゼベダイの子ヤコブとヨハネ）、『あなたがたは、自分が何を願っているか、分かっている。』とこのようにおっしゃっています。では私達は分かっているのでしょうか。皆様は何かを求めていらっしゃるのですよね。祈っていますよね。こういうことが私達は何であるか分かっているのでしょうか。もちろん「健康をお許し下さい」と言うことは健康のための祈りでしょう。今、私が言おうとしているのはそういうことではないのです。全ての求めには、全ての願いには、全ての祈りには、基本的に心に敷いている精神が必要です。全ての求めの目的、その中には永遠の命と関係がなかったら何の意味もありません。永遠の命とは何でしょうか。結局、私達が最後まで求めなければならぬことは、自分のものにするためにいつも頑張らなくてはならないのが永遠のいのちでしょう。しかし私達の大体の弱さは、何かを求める時にその永遠の命まで考えない。そして、永遠の命とは神様が私達に下さる一番大きな宝物であることを知っていながらも、それを忘れてしまう。目の前のものに縛られてしまう。

二つ目は、イエス様が「私の飲む杯をあなたは飲もうとするのか。」と言われ「出来ます」とあまり簡単に考えもせずに答えた話です。実際よく考えてみますと、私達が何かを求めようとする時に、

いいことを求めようとするその時に、色々な難しさが待っているのを分かっています。しかしその難しさを乗り越える力は、御言葉通りに乗り越えたら一番変わらない贈り物が待っている。そういう気持ちでやらなければいつも私達は道から外れる可能性があります。

なぜなら目の前にある力。それを私が握りたいという気持ちになれば、やはりその欲によって永遠の命や神様の御旨は見えなくなってしまいます。そういう意味で、私達はたまに深刻になって、「私が今望んでいるものがそんなに大事なもののか。」と、振り返って見る心の余裕が必要ではないかと思って見ました。やっぱり難しいですね。全てが。

以前にも申し上げましたが、私はイエス様に文句を言いたい聖書の箇所が幾つかあるのです。三つ目は『偉くなりたい者は』とか、『いちばん上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。』ということです。『人の子は仕えられるためではなく仕えるために来た。』実際にイエス様の本当の心は「偉くなりたい」という気持ちに、何の意味があるのかという話だと思えます。「偉くなりたい」という気持ちさえ、ある意味では相応しくない。イエス様は偉くなりたいという気持ちさえ持つてはいけなると言いたいのだと思えます。そして、そのように偉くなったら、その人はかわいそうです。人の上に立ちたいという気持ちで生きようとするれば、その人は絶対幸せを望めません。人間的に社会的地位を求めようとする人が、幸せな生き方をするのを、私は今まで一度も見ることが出来ませんでした。この世の中で「出世」と言うのでしょうか。「偉くなりたい」と思う気持ちのために、「偉い」と言われるために生きた人達は結局崩れてしまいます。親は子供達が偉くなるために色々な勉強をさせ、お金を投資します。その勉強したものが役にたてば、少なくとも満足が出来るかも知れませんが、殆ど失敗でしょう。人間の幸せはそこにはないと教えることは、もっとその人を真の意味で偉くすることではないかと思ってみました。

ありがとうございます。